

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：深澤 淳志

事業名	一般国道156号 ^{やまと} 大和改良		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局
起終点	自：岐阜県郡上市大和町 剣 至：岐阜県郡上市白鳥町 中津屋		延長	2.6 km		
事業概要	<p>一般国道156号は、岐阜市を起点とし富山県高岡市に至る延長約210kmの幹線道路である。このうち岐阜県郡上市大和町剣地区から白鳥町中津屋に至る区間では、落石崩落や土石流等の災害の危険性のある箇所が連続しており、平成11年には長良川が氾濫し路面が流失する災害が発生した。またこの区間は狭幅員でまた線形も悪く、特に冬期の安全な交通確保に支障をきたしている。国道156号大和改良はこれらの問題を解決するための延長2.6kmの2車線道路である。</p>					
H元年度事業化	H一年都市計画決定		H13年度用地着手	H一年度工事着手		
全体事業費	約78億円		事業進捗率	35%	供用済延長	0.0km
計画交通量	10,500台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.0 (残事業) 1.6	総費用 (残事業)/(事業全体) 51/81億円 事業費：43/72億円 維持管理費：8.5/8.5億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 83/83億円 走行時間短縮便益：79/79億円 走行費用減少便益：5.0/5.0億円 交通事故減少便益：-0.32/-0.32億円	基準年 平成20年度		
感度分析の結果(※2)	<p>残事業について感度分析を実施</p> <p>交通量変動：B/C=2.0 (交通量+10%) B/C=1.3 (交通量-10%) 事業費変動：B/C=1.5 (事業費+10%) B/C=1.8 (事業費-10%)</p>					
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 災害への備え、他5項目に該当 					
関係する地方公共団体等の意見	<p>一般国道156号大和改良は、落石崩落や土石流等の災害に強い道路機能の確保や交通安全を果たすことを期待されており、郡上市より早期整備の要望を受けている。</p>					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> 平成11年長良川出水により被災、路面流出が発生 高齢化と人口減少、市町村合併等による生活圏の広域化 					
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>現在までに用地の大半を取得している。</p>					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<p>平成20年代中頃に事業完了予定。</p>					
施設の構造や工法の変更等	<p>新技術を積極的に活用し、橋梁形式の見直し等を実施しコスト縮減を図っている。</p>					
対応方針	防災事業として事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。